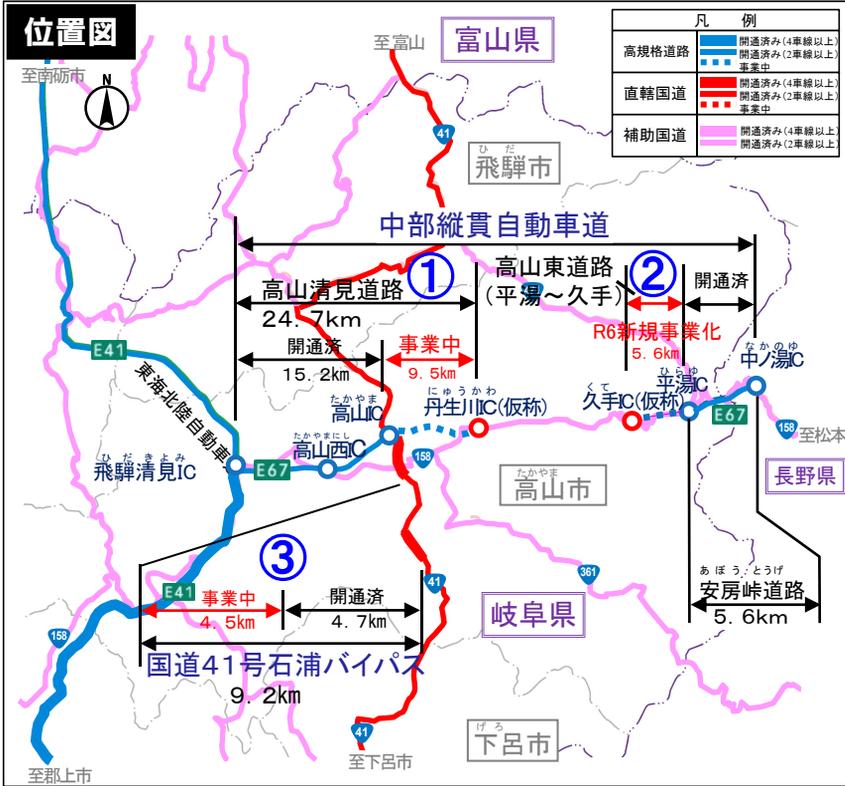


国の事業に対する高山市の取り組み

① 中部縦貫自動車道 高山清見道路

高山清見道路は、「中部縦貫自動車道」の一部を構成し、高山市内と東海北陸自動車道との直結による高速交通サービスの提供、市内の交通混雑の緩和、さらには地場産業振興などの地域発展の支援等を目的に計画された一般国道の自動車専用道路であり、平成4年度に事業化され、飛騨清見IC～高山ICが開通済みです。令和7年度は工事を推進します。



【建設課職員の業務】

高山市は「中部縦貫自動車道」及び「国道41号石浦バイパス」の建設促進のため、次の業務を行っています。

国の事業進捗には、関係者の質問や要求に的確に回答できる土木系技術職員の関与が必要不可欠です。

- ① 道路の早期完成に向けた要望活動の実施
 - ・各首長や関係機関とともに、国土交通省や財務省などを訪問し、要望活動を実施しています。
- ② 橋梁、トンネル工事などの工事説明会の開催
 - ・沿線住民や地域への工事周知や対話のため、国と合同で説明会を実施しています。
- ③ 関係機関との調整
 - ・道路を造るには様々な機関との調整が必要です。例えば学校通学路を工事用道路として使用する場合、関係者と安全対策の打合せが必要となります。このように建設課では国と関係機関とのパイプ役を行っています。
- ④ 用地交渉・取得
 - ・国から委託を受けて、事業用地の一部を市の職員が取得しています。
- ⑤ その他
 - ・工事で発生する残土の受入地を確保するため協力や、関連する流末排水路の整備などの工事を実施しています。

① 下切高架橋（仮称） 至 丹生川IC（仮称）



●中部縦貫自動車道 高山清見道路
未供用区間である高山IC～丹生川IC(仮)区間を工事状況

② 中部縦貫自動車道 高山東道路 (平湯～久手)

中部縦貫自動車道の平湯～久手間において、線形不良箇所の回避及び高山市街地と上高地等の岐阜・長野県境の主要な観光資源の移動時間短縮が図られ、観光周遊性の高いネットワークを構築します。令和7年度は、調査設計を推進します。



●中部縦貫自動車道 高山東道路
令和6年度新規事業化

③ 国道41号 石浦バイパス

石浦バイパスは、地域高規格道路「高山下呂連絡道路」の一部を構成し、飛騨地域の主要路線である一般国道41号の渋滞緩和、落石危険箇所の回避及び地域連携等を目的に計画された道路であり、宮崎トンネル（高山市久々野町久々野～高山市一之宮町）は平成15年度に事業化され、令和2年12月12日に開通しています。宮高山バイパス（高山市一之宮町～高山市千鳥町）は平成12年度に事業化され、令和7年度は用地買収を推進します。

③ 宮崎トンネル 至 高山市街地



●国道41号 石浦バイパス
トンネル開通(R2)により急カーブが連続し冬期の通行難所区間の宮崎を回避が可能となった